

# ふくしま 再生 短信

## 放射線モニタリング陣中見舞記

### ※ 村民との協働 ※



#### まずは点検

車載測定装置の点検をする村民測定員（右）と再生の会測定責任者・小原壮二さん（左）

2015年8月9日午前7時、早めの朝食を終えて  
短信記者は再生の会・放射線測定

チーム責任者の小原壮二さんに同行して霊山センターを出發した。向かったのは飯館村伊丹沢にある放射線測定車再生2号と再生3号の車庫である。測定車には村民が参加する「飯館村村内モニタリング事業」（飯館村の委託事業）のた

め

めのKEK（高エネルギー加速器研究機構：山内正則機構長）提供の測定装置が積載されている。測定車はスズキ（株）と（株）スズキ自販福島の車両協力を得て、購入の資金は三井物産環境資金の助成金を充てている。

安心安全の核心部＝放射線モニタリングには飯館村の委託事業のほかに再生の会独自の全村測定ほかの各種測定がある。今後の短信で報告する。

午前8時、村民測定員の集合時間である。車載測定装置の点検作業が慎重に実施された後、村民測定員の運転する測定車は出發する。毎月40人の村民が20地区の各戸をくまなく回るルートで測定し結果は村民のタブレット型コンピュータに発信されている。測定車をいつまでも見送る小原さんの後姿（右上の写真）にエールをおく



りつつ現場をあとにした。（撮影・文責：若林一平）

#### KEK（高エネルギー加速器研究機構）と飯館村再生支援

KEKは、加速器と呼ばれる装置を使って基礎科学を推進する研究所です。最先端の大型粒子加速器を用いて、宇宙の起源、物質や生命の根源を探求しています。

（KEKのHPから抄録）

2015年7月22日、山内機構長の発案で、KEK・飯館村役場・村

民・ふくしま再生の会が参加して、KEKつくばキャンパスでワークショップが開催された。各参加者からの報告と討議のあと、山内機構長から「一点は山林も含めて面の測定、これは空間線量です、二点は水の測定、次は土壌の



Bq/kgの測定。こういった測定を住民の方と一緒にやってやること。それに加えて田尾さんが言った、国際的にもそういう機会を持つて飯館に貢献できる体制を作ることです。土壌に関しては東大の溝口教授と、水については宇都宮大の大沢教授と連絡を取って、KEKに何が貢献できるか、協力してやっていきたい」との全体総括があった。

【訂正】第2号記事中の『ユートピア』を『ユートピア17』にお詫びして訂正します。